

## 巻き爪

Q・・長年、巻き爪に悩まされてきているのですが、できるだけ手術は避けたいと思っています。アメリカでは「フェノール法」という治療法が主流

Dr.林の  
足のお悩み  
相談室

## 短期で治るフェノール法、痛みほぼないドイツ式

だと耳にしたのですが、詳しく教えてください。また、「ドイツ式VHOワイヤー法」というのも聞いたことがあります。フェノール法とどう違いますか？

A・・巻き爪は、爪の両脇が強く湾曲して皮膚に食い込み、化膿を繰り返したり痛み原因になっている爪の疾患です。フェノール法は巻き爪を1回の手術で永久に除去できる治療



爪を1回の手術で永久に除去できる治療

法で、従来の手術に比べると痛みも最小限でクリニックで簡単にできるので、アメリカでは頻繁に行われています。手術の内容は、部分的にえぐっている爪の部分のみを除去し、巻き爪の生え際に強酸のフェノール酸を塗り、その部分の爪が生えるのを永久的に止めてしまいます。他の部分はもちろん通常通り爪が残ります。

また、術後は整形用医療サンダルを履き歩いて家に帰ることもできますし、治療の翌日からシャワーに浴びることも許可されます。数日後にはスニーカーなどの靴を履いても歩行できます。2週間ほどで術後の傷もきれいに乾いて治ります。縫わないので抜糸の必要もありません。

ドイツ式VHOワイヤー法はドイツで頻繁に行われている治療法で、アメリカではあまり耳にしません。針金を爪の脇に挿入し、1年から1年半ほどかけて巻き爪を治していきます。針金で時間をかけて矯正していくのでほとんど痛みがないのが長所ですが、フェノール法に比べて治療費がかさむこと、完治までに時間がかかることが難点です。日本人の10人に1人が巻き爪であると言われていますが、実際に自覚症状がある人は少ないでしょうが、何回もひょうそうで悩まされた経験があったり、痛みがある場合は一度診断をお勧めします。慢性的に放っておくと「肉芽腫」という腫瘍ができ、この腫瘍も一緒に除去する必要があります。(次回は4月21日号掲載)

〈プロフィール〉林美香 (はやし みか) ニューヨーク足病医科大学卒業後、足病医学博士号を取得。聖ビンセント病院で足病医科・外科研修を修了、その後、ニューヨークの日系クリニックで足病専門医として勤務。2008年、マンハッタン初の日系足病専門クリニック、「林美香足病科クリニック」設立。〈情報〉林美香足病科クリニック 211 E 43rd St, Suite610 212-682-0043 www.mikahayashi.com